

こんにちは 町会です

地域の笑顔の輪を広げる 町会・自治会のまちづくり活動

はっちょうぼりさんちようめひがし 八丁堀三丁目東町会



ザ トウキョウ タワーズ THE TOKYO TOWERS 自治会



THE TOKYO TOWERS

かきいちきょうわかい 蛸一共和会



**町会・自治会活動に参加して
世代を超えたふれあいを！**

わがまち中央区の人口は、平成九年の最少時の二倍近くに増え、今年四月には十四万人を突破しました。

区は、区民の誰もが「快適な都心居住」のもと、将来にわたり安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでおります。

まちのにぎわいが増す中で、あらゆる世代の方たちが、安全・安心に暮らし続けていくためには、地域の人々同士の相互理解や信頼関係の構築が何よりも大切となります。

地域の中で、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については、防災訓練の実施や災害用備蓄品の点検・充実を図るなど、安全で安心なまちづくりにまちぐるみで取り組んでいます。

さらに、盆踊りや餅つきなどの伝統行事も盛んです。子どもから大人まで幅広い世代の方たちが交流を深められる魅力的なイベントとして大好評です。

この「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入参加のきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも地域コミュニティへの参加に向けて第一歩を踏み出しませんか。素敵なまちづくりに一緒に取り組みましょう！



八丁堀三丁目東町会

会長

青野

雅信さん

近隣町会との連携により
伝統あるまちを元気にしたい



八丁堀は江戸時代、多くの与力・同心が居住していたことで知られています。明治以降は下町として発展し、鈴らん通りには古着屋や露店・夜店などが並び、大変な賑わいをみせていました。しかし近年は、オフィスやマンションが建ち並びビル街となっています。

「八丁堀三丁目東町会の会員は約百二十世帯で、法人会員と一般会員がおおよそ半々です。住民の減少に伴い、近隣町会と合同で行事を行うことが増えてきました。」と語るのは、十代目会長の青野さんです。

八丁堀の全町会が共同開催する「京橋七の部連合町会納涼大会」もそのひとつです。毎年八月に八丁堀三丁目の京華スクエア(旧京華小・京華幼稚園の跡地)で、一日あたり



五、六百人
が盆踊りを
楽しめます。
「地域住
民のほか、
八丁堀に勤
務するOL
やサラリー
マンも参加
します。町
会ごとに

世代交代が求められるなか 若手会員の活躍に期待

町内には、今村幸福神社と日比谷稻荷神社の二つの氏神様が鎮座し、多彩な行事が行われています。一月の「元旦祭」に続き、二月に両神社で行われるのが「初午祭」です。神官による祝詞奏上やお祓いのち、玉串を捧げて家内安全・家業繁昌を祈願。それが終わるとお汁粉やつきたての餅、焼きそばが振る舞われます。子どもにはお菓子が配られるため、大勢の子どもが参加して賑

わいます。
また夏には「町内レクリエーション」としてバス旅行を計画し、これまで九十九里や伊香保、長瀨などを訪れました。子どもや孫と参加できますし、梨や葡萄などのお土産つきなので、毎回好評です。
「町会の課題は、会員数が伸び悩んでいることです。今後は法人やマンション住まいの方にも積極的に呼びかけて活性化を図りたいです。」と青野会長。集合住宅は増えていますが、オフィスや賃貸住宅が多いため、町会への加入が進まないのが現状のようです。
「住民は高齢者が多く、役員の平均年齢も高いので、若手の育成も課題です。現在、若手役員を中心に開催しているのが「バーベキュー大会」(八丁堀三丁目東町会と共催)で、『日枝神社例大祭』(隔年)のない年に開催しています。若手の声かけにより、普段は町会活動に消極的な若い親子も参加しますので、今後も彼らの活動に期待したいです。」と青野会長。次世代を担う若者と世代交代が円滑に進み、町会の活性化につながることを望まれます。



右から杉本理事、吉村副会長、金子副会長。



わいます。
また夏には「町内レクリエーション」としてバス旅行を計画し、これまで九十九里や伊香保、長瀨などを訪れました。子どもや孫と参加できますし、梨や葡萄などのお土産つきなので、毎回好評です。
「町会の課題は、会員数が伸び悩んでいることです。今後は法人やマンション住まいの方にも積極的に呼びかけて活性化を図りたいです。」と青野会長。集合住宅は増えていますが、オフィスや賃貸住宅が多いため、町会への加入が進まないのが現状のようです。
「住民は高齢者が多く、役員の平均年齢も高いので、若手の育成も課題です。現在、若手役員を中心に開催しているのが「バーベキュー大会」(八丁堀三丁目東町会と共催)で、『日枝神社例大祭』(隔年)のない年に開催しています。若手の声かけにより、普段は町会活動に消極的な若い親子も参加しますので、今後も彼らの活動に期待したいです。」と青野会長。次世代を担う若者と世代交代が円滑に進み、町会の活性化につながることを望まれます。

～町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、**①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内**などが閲覧できます。そのほかにも、町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板(会員のみの利用可能)や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご利用ください。

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合せ先

区民部地域振興課自治振興係

03-3546-5337

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。



日本橋
地域マンション住民や若手会員が
町会活動を積極的に牽引

蛎一共和会

会長

松永 まつなが
富治 とみやさん

「この界限は戦争の被災を免れたため、昔ながらの小さな木造二階建て住宅が建ち並んでいました。マンションが増え始めたのは、昭和五十年代半ばごろからです。ほかの地域よりマンション建設が早かったのは、老朽化した住宅の跡地に建設が進められたからでした。現在、町内の居住者は約七百世帯で、その九割がマンション住民です。」と語るのは、地元で生まれ育った松永会長です。

隔年で行われる「神田明神例大祭」とともに住民が一丸となって盛り上がるのが、八月に町会主催で開催される「納涼祭」です。

午後四時半から子ども祭りが行われ、六時からは入れ替え制でビール祭りや盆踊りが始まります。青年部が焼きそばやフランクフルトを作り、女子部が接客を担当。祭りのチケットは前売り制で、今年はずっとも二百人分と大人三百人分を販売しました。チケット制にすることで人数が把握でき、無駄がなくなったと好評です。

年末には日本橋三の部連合町会で「餅つき大会」を開催。人形町通りにて、十五の臼で五千四百人分の餅をつきます。四十年以上続く人気の行事です。

まちの歴史を語り継ぎ
貴重な文化を残したい

町会の特長は若手会員の活躍が目覚ましいことです。

「青年部長も女子部長も指導力があるので頼もしい限りです。女子部には三十代中心の若い女性が所属。かつては婦人部の下部組織でした



が、実際に現場で活動する若手に任せようと婦人部は解散しました。かつての婦人部員は現在、役員として参加して

せん。

またマンション住民と旧住民とのコミュニケーションが円滑であることも大きな特長で、イベントに人が集まらないという心配はないそうです。新旧住民の交流に悩む町会が多いなか、理想的な運営が実現できているといえます。

こうした円滑な運営に一役買っているのが、女性のマンション担当役員です。各マンションを回り、町会活動の意義や内容を説明し、入会をお願いしています。マンションの多くは管理員が窓口ですが、最近では町会担当役員を設けるマンションもあり、連携が図りやすくなったそうです。



また松永会長は、まちの歴史を伝える活動にも携わっています。

『かきがら』が読めない人もいますが、江戸初期の地図にも残る歴史ある地名です。日本橋に魚河岸があった時代、この地域で貝殻をつぶして土に混ぜ、壁などの材料になったことが由来のようです。そんなまちの歴史のほか氏子神である神田明神についても伝えていきたいです。」と語る松永会長の活動により、まちの魅力が多くの人に伝わり、歴史ある文化が継承されていくことでしょう。

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

現在、「中央区」には、約3万7千の事業所があり、72万人の従業員の方が働いています。「東日本大震災」では、お勤めの方など多くの方が帰宅困難となりました。当日、中央区では、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化に加え、行政と連携した防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも取り組んでいただいています。

法人企業においても、いざという時のために日ごろから町会との連携を深め、協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りや餅つきなど、町会主催のさまざまなイベントに参加することで、日中の多くの時間を過ごす地域の方とのコミュニケーションが図れます。さらに、町会に加入すると、区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、この機会に町会への加入をご検討ください。皆さんの事業所がどこの町会エリアかなど、町会に関する詳しい情報は、2面記載の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。





THE TOKYO HORNET CLUB

会長

おのの 大野 玲子さん

世界に誇れる水の都を目指し
大規模な親水イベントを開催



THE TOKYO TOWERS 自治会は、二〇〇八年に勝どき六丁目に建設された二棟の超高層マンション(五十八階)の住民により構成されています。総世帯数は約二千八百で、住民は約八千人です。

自治会最大のイベントは、毎年秋に開催される「ウォーターフロントコミュニティフェスティバル」。「水の都中央区をつくる会」との共同開催で、親水と防災がテーマです。

「水辺のまちななので、水に親しむ環境づくりを進めたいと思っています。また地震などの有事の際、橋や道路の崩壊で月島地域は孤立する可能性もありますので、このイベントを通して住民の防災意識の向上も図りたいと考えています。」と語るのは大野会長と高崎副会長。



親水イベントとして、ボートの試乗会や屋形船での東京湾クルージングを企画。防災イベントとしては、地震シミュレーターによる地

震体験、はしご車や消防艇みやこどりの体験乗船、カレーの炊き出しなどを行っています。ほかにも音楽ライブやドッグラン、チャリティー・カフェなどを実施。昨年は約二千八百人が参加しました。(今年は十月十七日開催)

会場は豊海運動公園とTHE TOKYO TOWERS三階有効空地です。船着き場がないため、当日は豊海運動公園の護岸に大型栈橋を仮接岸し、船を係留します。

「災害時にこの地域が孤立した場合、港から人や物資を運ぶ必要があります。救援・救護のためにも多目的栈橋を造っていただけると安心だと思えます。」と高崎副会長。自治会活動を通して地域の実情や課題も見えてきたそうです。

集合住宅だからこそ
住民同士の絆が大事

自治会行事としては、このほかに約百名の子どもが参加する「新入学児童祝賀会」、九月の「敬老祝賀会」、年末の「餅つき大会」などがあります。また今年は三年に一度の「住吉神社例大祭」が開催され、敷地内の門付けで盛り上がりました。



「水の都中央区をつくる会」会長でもある高崎副会長

「都会の高層マンションなので、ご近所づきあいは希薄になりがちですが、いざというとき頼りになるのはご近所です。そこで『エレベーターなどで顔を合わせたら挨拶しましょう』と呼びかけました。すると少しずつ声かけが増えて住民同士の顔がわかるようになり、暮らしやすくなってきました。自治会行事も住民交流の一助になればと楽しいイベントを計画しています。もちろんマンション内だけでなく、近隣住民や行政との連携も図り、犯罪のない住みよいまちづくりを目指しています。」と語る大野会長は、マンションや周辺の植栽にも携わってきた経験を活かし、今後さらにまちの緑化活動に力を入れたいと考えているそうです。

「東京オリンピックの選手村をはじめ、晴海にはマンション群が建設予定で、完成すると月島地域の人口は中央区の六十パーセントに達するとも言われています。中央区のウォーターフロントとして、ベネチアのように世界に誇れる水の都にすることが目標です。」との大野会長の言葉に、発展を続ける水辺のまちの明るい未来が見えてきました。



コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日は一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で入浴をお楽しみいただけます。

みなさんのご利用をお待ちしています。

平成27年度の後期は、下記の日程となっています。

【開設日】 10月9日(金)・23日(金) 11月13日(金)・27日(金) 12月11日(金)・25日(金)
1月8日(金)・22日(金) 2月12日(金)・26日(金) 3月11日(金)・25日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんだ趣向で浴場を飾ります。

【時間】 各浴場営業時間 【場所】 中央区内公衆浴場(銭湯)
【対象者】 中央区内在住・在勤者 【入浴料金】 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料



お問合せ先 区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623